

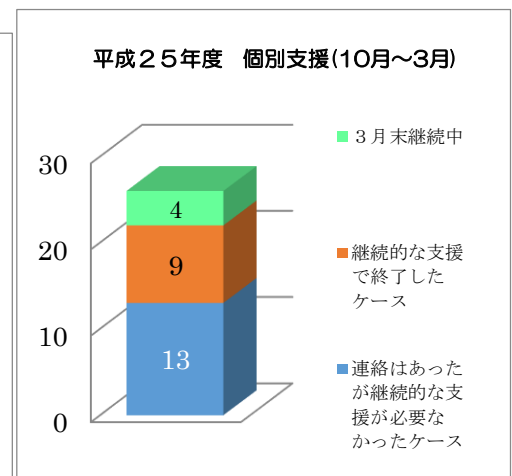
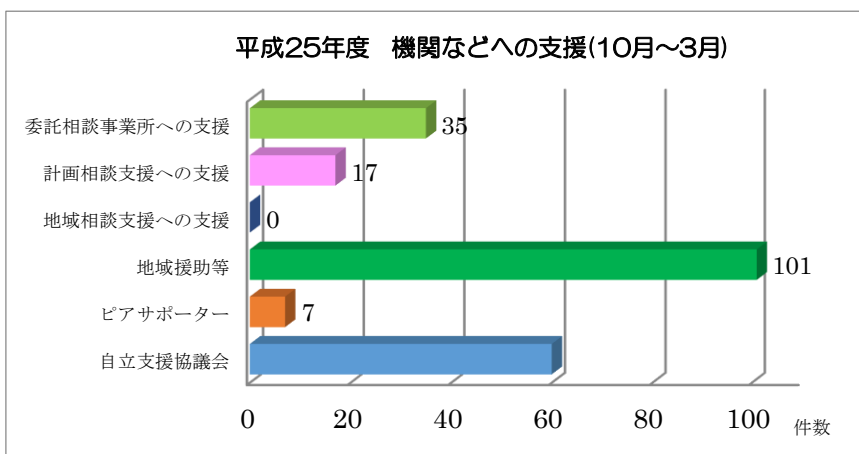
第1回運営委員会が開かれました

6月11日(水)10時30分より、ワン・オールのカフェ・スペースで平成26年度第1回札幌市基幹相談支援センター運営委員会が開かれました。今回の委員会では、昨年度事業実績及び今年度の組織体制、事業計画、収支予算等について審議していただきました。各委員からは、個別相談や委託相談支援事業所からの相談内容、計画相談に関する相談内容、相談支援事業の課題整理の進捗状況、ワン・オールのスタッフの安定的かつ複数法人による多様性の確保などにたくさんご意見をいただきました。

ワン・オールからは、今年度の優先的取り組みとして①まず、札幌市と協働して相談支援事業の改善に向けた取り組みをやり切りたい②それを軸にしながら計画相談の整理と委託相談支援事業所の後方支援に力を入れたい③市外ケースの他、重症心身障がいの方の課題など、漏れやすい課題、見過ごされやすい課題についても敏感にキャッチしたいとお伝えしました。

次回は10月に開催される予定です。

(Oku)



豆知識のコーナー

最近よく耳にする『セルフ虐待』、『セルフネグレクト(自己による放任)』について情報共有させて頂きたいと思います。高齢者虐待防止法にも障害者虐待防止法にも、法律上の定義はありません。明確な定義がない中で、どのような状態がセルフネグレクトなのか? そのサインは、以下①～⑥となっています。

- ① 屋間でも両戸が開まっている。
- ② 電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃の支払いが滞っている。
- ③ ゴミが部屋の周囲に散乱している、部屋から異臭がする。
- ④ 郵便物がたまり場になっている。
- ⑤ 野良猫のたまり場になっている。
- ⑥ 近所の人や行政が相談にのろうとしていても「いいよ、いいよ」「放っておいてほしい」と遠慮し、あきらめの態度がみられる。

このような状態の方に関わったことはありませんか? 相談員なら一度や二度は、ごみ屋敷に訪問したことがあるのではないかと思います。正直なところ私自身は、セルフネグレクトと聞いてもはじめはピンと来ず、「自己決定の結果の放任」という解釈をしていました。また、果たして精神疾患等に起因して判断能力が低下しているのかの見極めができず、相談員として葛藤する事案もありました。「他者からの人権侵害ではなく自分自身による人権侵害」については、その範囲も程度の判断基準を設けることも難しいことと思います。

昨今、研究者の間では多くの議論がなされているこの問題について、今後は勉強会等で皆さんと見識を深めたいと思います。

(ARA)

研修会報告 : 刑事弁護PT勉強会

去る6/20札幌弁護士会館にて今年度初の札幌弁護士会高齢者・障害者委員会の刑事弁護PTと相談支援事業所とのコラボ勉強会を開催しました。60人ほどの方にお集まりいただきました。今回は、弁護士による模擬接見を中心に構成しました。弁護士からは、接見までに得ている情報の解説などを、福祉からは、知的障がいの方への文言の伝え方や工夫等についてご発言いただきました。昨年度からスタートした勉強会ですが、今年度は、おおむね3~4回の計画で、『事例を通して、弁護士と福祉職の相互理解を深める』ことを目的にしています。より具体的に司法から福祉の“入口”から“出口”までをイメージしていただけるよう組み立てる予定です。日程につきましては、あらためてご案内いたします。(NIS)

ワン・オールの実施状況報告

ワン・オールでは、①市外からの転入に伴う相談で、札幌市内で居住する区が決まっていない、②地域定着支援センターから依頼のあった特別調整等、にかかわるケースについての状況を報告いたします。また、その後、各区の相談室へ引き継ぎをお願いさせていただきました。みなさまに感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。(NIS)

◆現在、継続中のケース

11件(登録・未登録含む)

引き継ぎにご協力いただいた区：白石区、清田区

～委託相談支援事業所への支援の概況～

<5月>

相談員支援	計画相談支援	自立支援協議会
特別介護給付、協議会など	計画作成のタイミング、モニタリング期間など	14件(地域部会/日付順→西・南・厚別・北・手稲・中央・東)(まちプロ・相談支援部会/プロジェクト他)など

<6月>

相談員支援	計画相談支援	地域相談支援
計画相談、事例検討など	上限管理など	地域移行と計画相談など
	自立支援協議会	ピアサポーター支援
	11件(地域部会/日付順→西・北・南・手稲・中央・東)(相談支援部会・まちプロ他)など	ピアサポーター交流会

その他

4月より、札幌市精神障がい者地域生活移行支援事業の委託を受けました。ワン・オールでは、相談支援事業ピアサポーター配置業務でも活躍されている、三島さんと契約し、業務を始めていただいております。過去、名刺などのイラストなどをお作りになった経歴を伺い、ワン・オールの発刊物などのイラスト作成をお願いしています。今後も、すてきなイラストにご注目ください。(NIS)



札幌市自立支援協議会のご報告

今回は、「まちの課題整理プロジェクト(以下、まちプロ)」の状況についてお知らせします。4月のまちプロの場で、「まちプロでの検討スピードアップ」と「まちプロで行っている課題の交通整理の方法を体験して地域部会に還元」について今年度のまちプロの方針についての話し合いがされました。事務局から全地域部会の皆さんへまちプロへの参加の呼びかけメールを発信したところ、中央区、東区、南区、西区から新たなまちプロメンバーの立候補があり、5月以降のまちプロにご参加いただいています。3/27の全体会では、「①ヘルパーの技術向上の～」 「②教育と福祉の連携に～」 「③市営住宅を含む住まいに～」 の3課題について、東区地域部会、子ども部会、中央区部会のそれぞれの部会での課題解決に向けた具体化の提案をお願いしました。その後まちプロに報告された課題が53課題まで増え(3月全体会時は40課題)、課題のカテゴライズを行い、新たに「④移動」「⑤行政の仕組み」「⑥身体と知的重複障害」「⑦相談支援事業」の4つのカテゴリの課題について課題解決のための具体化の検討を始めています。

9月には次回全体会の開催も予定していますので、まちプロの進捗状況に応じてですが、④～⑦の課題の交通整理の状況を全体会でお伝えできると思います。(HAY)